

## 時事の話題について

### 節電対策について（記者配布資料）

（節電要請、調査取りまとめ）

関西電力の節電要請に対して、京都経済界としては、昨年の夏のピーク時の15%カットを各事業所に要請している。計画停電など不測の大規模停電だけは絶対に避けてもらいたい。そこで、消費電力の61%を占める工場・オフィス等での電力消費を抑制する取り組みとして、京都府内の大口需要家244社に対して、要請文を送付するとともに、具体的な節電・ピークカット対策を調査した。回答があった114社には、要請に応えて、取り組みを進めていただけたものと考えている。明日から本格的に節電体制に入ることになる。ピーク時の電力抑制に向け、小口需要家に対しても、さらに周知を徹底していきたい。

また、京都商工会議所としても、本ビルの空調や照明の抑制、エレベーターの一部停止などを、明日から取り組む予定である。

（中長期のエネルギー政策について）

足元の電力供給の安定性を考慮すると、脱原発に一気に舵を取るのには拙速だ。しかし、新たな原子炉の建設が困難な情勢になるだろう。中長期的には、原子力依存を高める政策を見直し、自然エネルギーへの代替や省エネのための技術革新、地産地消型エネルギーを中心とした地域コミュニティの形成など、幅広い観点から国民的な議論を展開する必要がある。原子力に偏ったエネルギー関連予算についても、大胆な見直しが必要だ。産業・生活分野の電力供給の安定性・経済性を最優先に考慮し、「縮原発」を進めるのが現実的だろう。

京都は、福井県の原子力など他府県の電力に頼っている現状だが、ある程度の電力は京都で賄うことが望ましい。そのためには、行政の大胆な政策が必要で、経済界としても知恵を出して考えていきたい。

### 東北・福島・仙台への訪問、および関西広域連合の訪中団への参加について

7月1日・2日の日程で、福島県の福島市と相馬市、宮城県の仙台市を訪問し、各都市の商工会議所の会頭と懇談することとした。震災から100日が経過し、震災直後よりも、復興に向けての課題や今後必要な支援が明らかになってきているはずである。原発問題、風評被害といった課題を認識するとともに、復興に向けて進んでいくための支援策など、被災地の中小企業の生の意見・ニーズをくみ取り、京都・関西ができること、やるべきことを検討する機会としたい。

また、原発事故に伴う外国人観光客の落ち込みを立て直すため、7月20日から関西広域連合が派遣する訪中団に参加することとした。関西の安全性のPR、関西の多様な観光資源に触れていただけるよう、京都を代表してプロモーションして参りたい。

## 京都商工会議所の動き

### 外国人観光客おもてなし向上交流会について（記者配布資料）

外国人観光客の減少は、京都の観光業界にとって、大変厳しい。徐々に通常の水準に回復していくと見込んでいるが、改めて京都観光への外国人の潜在的なニーズを探り、ニュー京商ビジョン・セカンドステージの重点課題に掲げている「京都観光の質的転換」を図っていく必要がある。

そこで、本所では、おもてなしの最前線で観光客に接する、旅館やホテル、飲食店などを対象に、「外国人観光客おもてなし向上交流会」を実施することとした。ただ単に入浴してくる外国人観光客を「もてなす」だけでなく、どのようにして京都顧客を作り出していくのかという「顧客創造」の観点からも、事業者が学び、交流し、知恵を出し合う機会としたい。

### 中国ビジネスミッション2011の派遣について（記者配布資料）

インバウンド観光の受け入れ態勢の強化とともに、中国をはじめとする東アジアへの進出や販路

拡大には、大きなビジネスチャンスが内在している。本所では、「中国ビジネスミッション」として9月に上海と江蘇省の常州に視察団を派遣することとした。主な目的は、中国最大規模の製造業に特化した商談会である「日中ものづくり商談会@上海」へ出展・参加し、現地企業とのビジネスマッチングを加速させるきっかけとしたい。中国での販路拡大や部品調達、委託加工などを目指す中小製造業の積極的な参加を呼び掛けたい。今後も意欲ある中小企業のアジアに「開く」取り組みを積極的に支援していく。

#### **記者からの質問事項**

**節電要請・調査の対象となった244社はどのような基準で選ばれた企業か？回答のあった114社が15%の節電に協力するということか？**

要請・調査の対象は契約電力500kW以上の京都府内の事業所である。基本的には回答した企業は、節電に協力いただけるものと理解している。

**関電の要請の前に、京都府や関西広域連合は5~10%の節電を決めていた。一方、企業は15%削減に取り組む。行政と企業の目標にズレがあることを、どう考えるか。**

経済界としては、産業競争力にも影響するので、大規模停電だけは絶対に避けたい。その観点から、関電の要請に対しては、協力・努力するという姿勢を貫きたい。

**京都経済界の15%カットの目標に向けて、節電調査の同等の無かった企業や小口需要家である中小企業も足並みをそろえて取り組めるか？**

足並みがそろえるかどうか、必ずしも自信をもって回答できない。しかし、社会的要請の強いテーマであり、中小企業を含めて節電の努力をしようという思いは同じだ。10%か15%かという数字については、各社の事情に応じて、努力するという事だろう。

**京都への訪日外国人の現状と今後の推移についてどう捉えているか？元の水準に戻すために何が必要か？**

直近のデータを把握していないが、震災直後は50%近く減少していると報告を受けた。徐々に回復しつつあるだろう。過去のピークを越えるところまで、早く回復させたい。そのためには、積極的なプロモーションがまず必要だろう。

以 上

## 2011年夏期の節電対策調査結果について

### 1 調査目的及び調査企業

#### (1) 調査目的

京都府内の各企業・事業所における電力量の節減とピーク時の電力の抑制対策についての取組状況等を把握するため。

#### (2) 調査期間

平成23年6月15日～6月27日

#### (3) 調査企業

京都府内の大口需要家となる企業・事業所244社

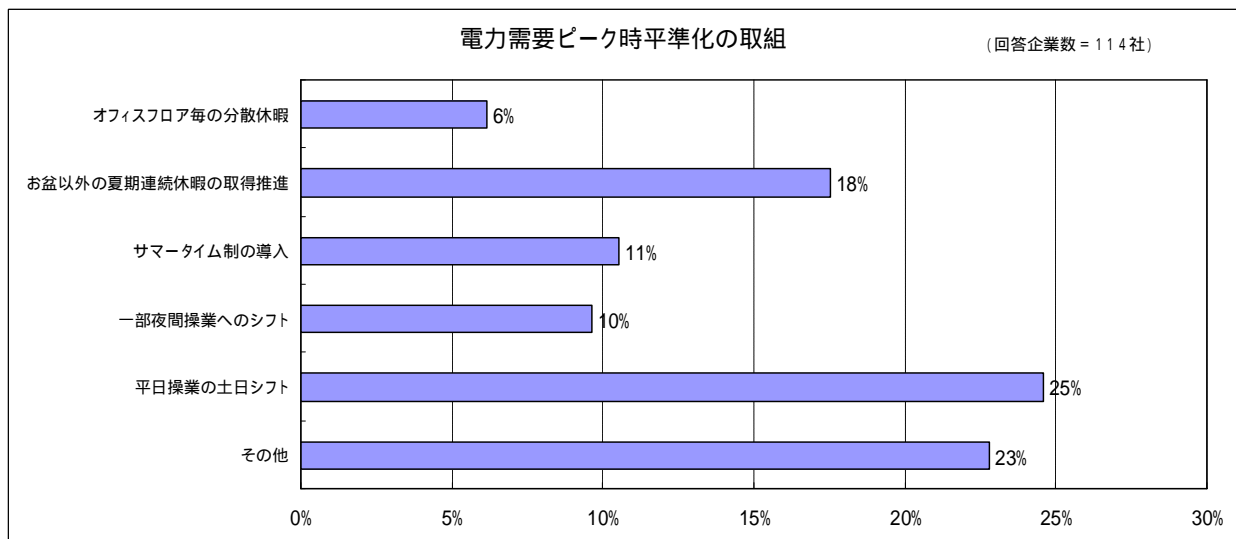
#### (4) 回答企業

114社（回答率47%）

### 2 調査結果

#### (1) 電力需要ピーク時平準化への取組

電力需要ピーク時平準化への取組を見ると、「平日操業の土日シフト(25%)」、「お盆以外の夏期連続休暇の取得推進(18%)」、「サマータイム制の導入(11%)」、「一部夜間操業へのシフト(10%)」、「オフィスフロア毎の分散休暇(6%)」の順となっている。

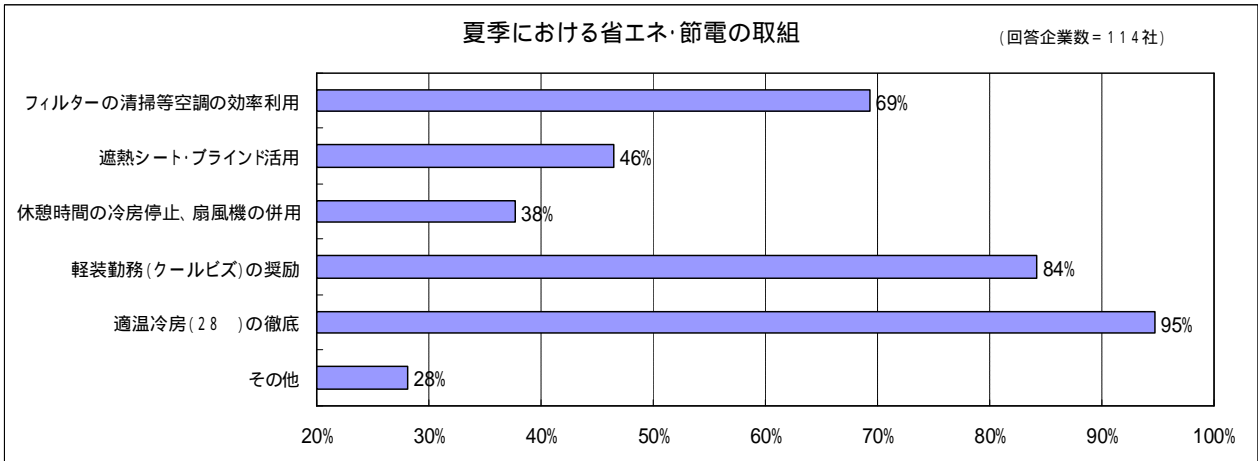


「その他(23%)」の具体的な取組

- ・ 「デマンド管理」
- ・ 「自家発電機の設置」
- ・ 「製造ラインの一部停止」
- ・ 「設備等の稼働時間の見直し」
- ・ 「夏期休暇の延長」

## (2) 夏季における省エネ・節電の取組

夏季における省エネ・節電の取組を見ると、「適温冷房(28℃)の徹底(95%)」、「軽装勤務(クールビズ)」の奨励(84%)、「フィルターの清掃等空調の効率利用(69%)」、「遮熱シート・ブラインド活用(46%)」、「休憩時間の冷房停止、扇風機の併用(38%)」の順となっている。



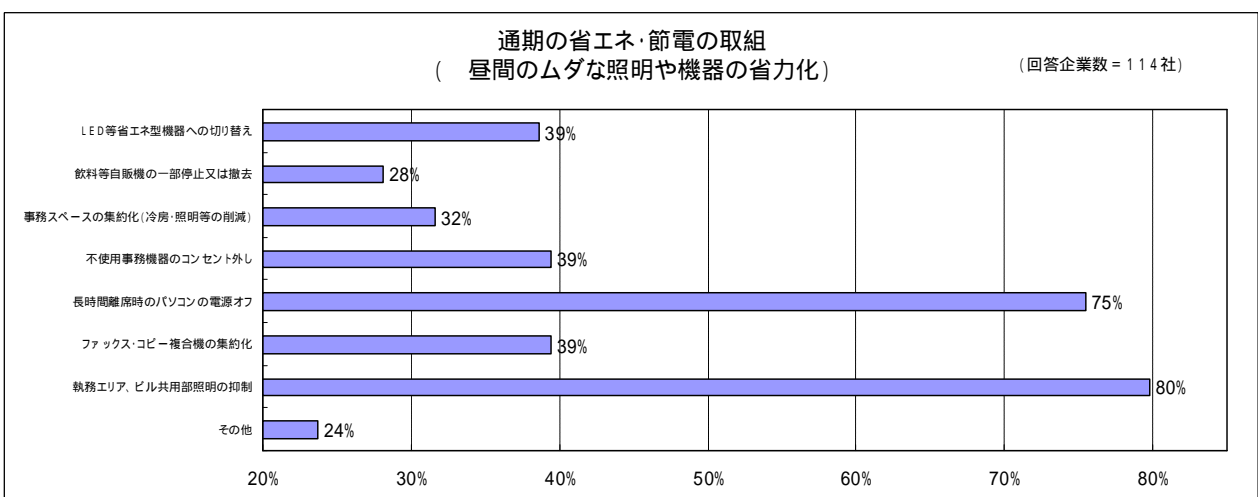
「その他(28%)」の具体的な取組

- ・ 「グリーンカーテン(ゴーヤの栽培)」
- ・ 「エレベーターの一部休止」
- ・ 「照明の間引き」
- ・ 「看板照明の終日ライトダウン」

## (3) 通期の省エネ・節電の取組

### 昼間のムダな照明や機器の省力化

通期における省エネ・節電の取組を見ると、「執務エリア、ビル共用部照明の抑制(80%)」、「長時間離席時のパソコンの電源オフ(75%)」、「ファックス・コピー複合機の集約化(39%)」、「不使用事務機器のコンセント外し(39%)」、「LED等省エネ型機器への切り替え(39%)」、「事務スペースの集約化(冷房・照明等の削減)(32%)」、「飲料等自販機の一部停止又は撤去(28%)」の順となっている。

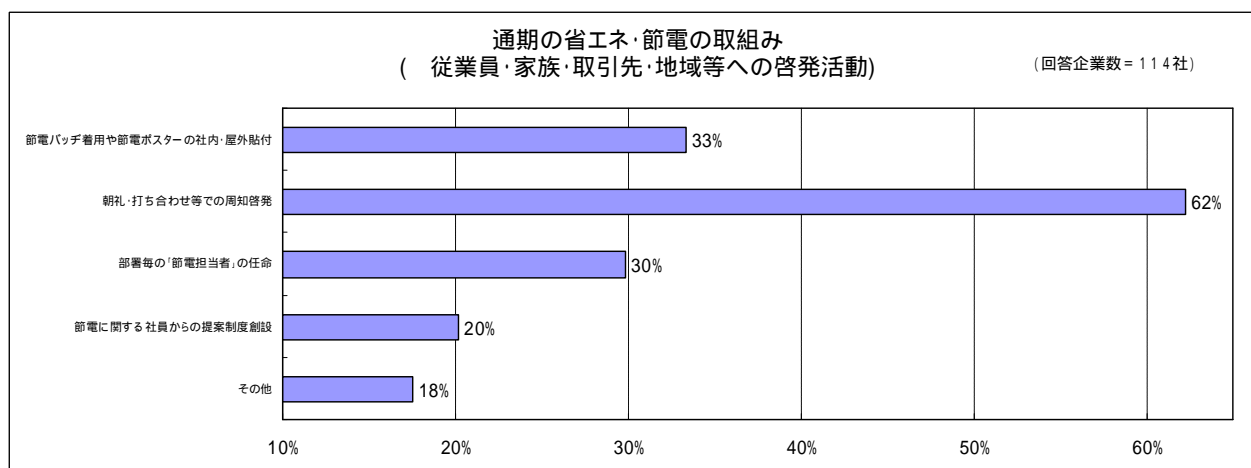


「その他（24%）」の具体的な取組

- ・ 「空調器機、冷蔵設備への省エネ器機の設置」
- ・ 「不要事務機器の廃棄」
- ・ 「管理職の巡回による節電の徹底」

### 従業員・家族・取引先・地域等への啓発活動

企業・事業の啓発活動としては、「朝礼・打ち合わせ等での周知啓発（62%）」、「節電バッチ着用や節電ポスターの社内・屋外貼付（33%）」、「部署毎の『節電担当者』の任命（30%）」、「節電に関する社員からの提案制度創設（20%）」の順となっている。



「その他（18%）」の具体的な取組

- ・ 「空調付近への告知ステッカー貼付」
- ・ 「節電啓発イベントへの参加」
- ・ 「従業員向け清涼肌着のあっせん」
- ・ 「従業員へゴーヤの種を配布」

外国人観光客おもてなし向上交流会の実施について

趣 旨：潜在的な京都観光へのニーズに応え、ニュー京商ビジョン 2nd ステージに掲げる京都観光の質的転換の推進に資するため、従来の欧米を中心とした入洛観光客はもとより、中国をはじめとする東アジアからの富裕層の受入れが大きな課題となっている。  
 こうした中、最前線で外国人観光客に接する事業者を対象に、京都への外国人観光客に対する「おもてなし」環境のさらなる醸成を図り、新たな京都顧客の創造や知恵ビジネスの誘発を目的とした本交流会を実施する。

対 象：外国人観光客を接客する観光関連の事業主および従業員  
 （旅館・ホテル、飲食店、土産物・小売店 など）

所 管：京都商工会議所 観光産業特別委員会

内 容： 専門委員会の設置  
 キックオフ・記念講演会の開催  
 おもてなし先進事例セミナーの実施  
 おもてなし先進地への視察  
 情報交換、交流の促進  
 顧客創造、知恵ビジネスの創出

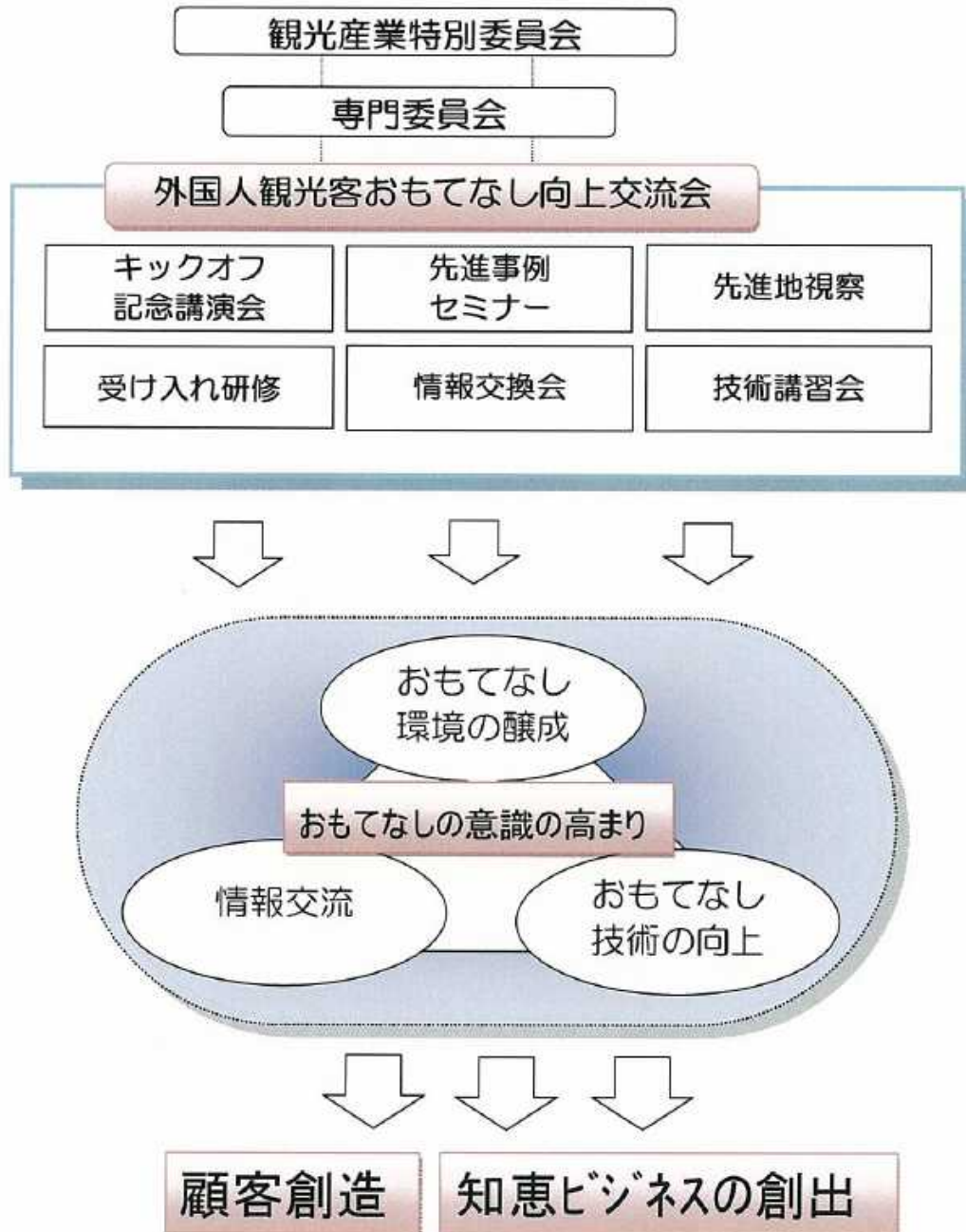
スケジュール（案）：

キックオフ	8月	記念講演会	
第1回	9月	先進事例セミナー	飲 食
第2回	10月		銀聯カード
第3回	11月	先進地視察	
第4回	12月	先進事例セミナー	旅 館
第5回	2月		物 販

京都市外国人観光客販売促進支援事業「外国人観光客受け入れ研修」（7月実施予定）との連携

本件担当  
 京都商工会議所 産業振興部 TEL：075-212-6453

推進イメージ：



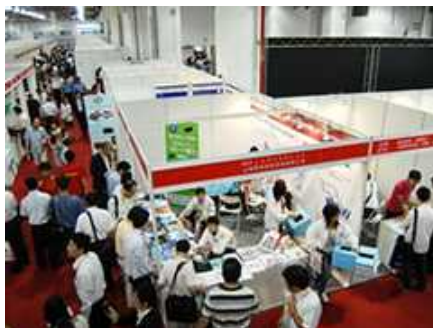
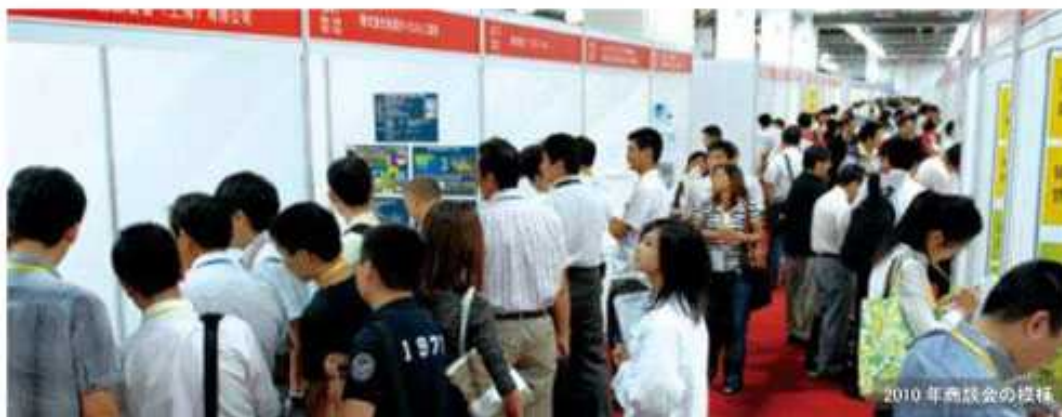


## 京都商工会議所 中国ビジネスミッション 2011 のご案内

2011年9月5日(月)～9月9日(金)

### 中国での調達と販路拡大に！ **日中ものづくり商談会@上海 2011**

～中国最大規模の製造企業向け商談会～





日本を抜きGDP世界第2位の経済大国になった中国は、今後一層、経済の拡大が見込まれるものの、労働力の確保や賃金上昇、産業の高度化など多くの課題を抱えています。一方、多くの強みを持つ京都の中小企業にとっては、中国の内需拡大に伴い、製造ラインの自動化、高度技術の導入、高品質な製品へのニーズの高まりなどにより、大きなビジネスチャンスが内在しています。

本視察団では、中国での販路拡大や商品調達、委託加工などを目的とする商談会としては中国最大級の商談会に参加し、現地企業とのビジネスマッチングを加速させるきっかけといたします。

併せて、長江デルタ地帯の中心部に位置している江蘇省常州市の現地企業やハイテク産業開発区などを訪問し、経済成長が著しい中国の実情を視察します。

是非、この機会に多くの皆さま方にご参加下さいますようお願い申し上げます。

## 実施概要

1. 日 程 2011年9月5日(月)～9月9日(金) 4泊5日(日程表ご参照)

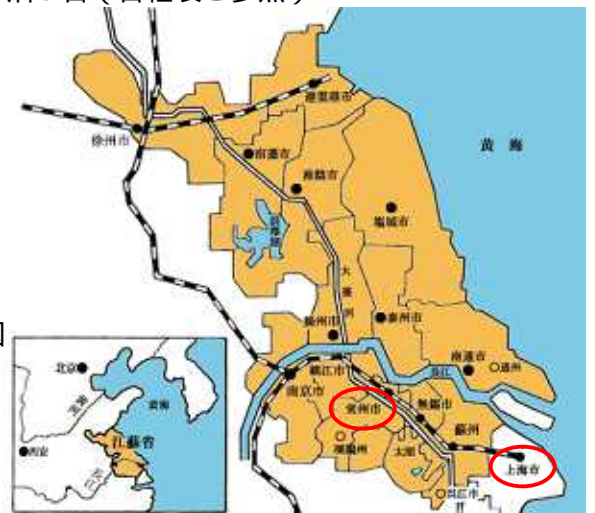
### 2. 内 容(予定)

日中ものづくり商談会@上海 2011 に出展

- ・中国最大規模の製造業特化型商談会
- ・中国での委託加工、仕入れ先の開拓拡大に最適
- ・約13,000社の製造業データベースから事前に商談をセッティング
- ・過去13回の実績、4,000社6,000名の来場見込
- ・格安な出展料(正規申込の約半額)
- ・京都府上海ビジネスサポートセンターから最新中国ビジネス情報の懇談

上海 常州間、最速49分の中国新幹線乗車

長江デルタ地帯の中心部の常州での企業の視察・懇談  
常州国家高新区機電産業招商局との懇談



3. 参加費用 基本料金(エコノミークラス・2名1室利用)おひとり様 104,500円  
(予定) 1人部屋利用追加代金 16,000円  
ビジネスクラス利用追加代金(関空-上海間) 122,000円

日中ものづくり商談会@上海 2011 出展料 70,400円(別途申込必要)

詳細、オプションツアー代金は旅行条件要旨をご覧ください

4. 主 管 京都商工会議所 国際交流特別委員会

5. 募集定員 30名 (中国での販路拡大や部品調達、委託加工などを目指す中小製造業(電子・機械・金属加工等)の経営者及び実務者クラス)

6. 備 考 懇談会・現地視察の際には、通訳、添乗員が同行いたします。  
日中ものづくり商談会のお申込用紙は別途ご請求下さい。  
日中ものづくり商談会で通訳が必要な場合は、別料金による手配が必要です。

## お問い合わせ・申し込み先

京都商工会議所 産業振興部(担当:才寺)

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル

TEL 075-212-6452 FAX 075-255-0428 E-Mail kokusai@kyo.or.jp

# 日 程 表

< 2011.3.24 現在 >

日次	月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	予 定 (宿泊地)	食 事
1	9月5日 (月)	関西空港発 浦東空港着	9:50 11:15 14:00 夕 刻	NH155 (予定) 専用バス	空路、上海へ 着後、上海市内へ 京都府上海ビジネスサポートセンターとの 懇談 出展ブース設営準備  < 上海 泊 >	昼: 機 内  夕:
2	9月6日 (火)	上 海	9:30 17:00 17:30	徒 歩	日中ものづくり商談会@上海出展 < 事前予約制による個別商談 >  商談会主催による懇親会 (予定)  < 上海 泊 >	朝: ホ テ ル 昼: - 夕:
3	9月7日 (水)	上 海	9:30 17:00 17:30	徒 歩	日中ものづくり商談会@上海出展 < 一般来場日、個別商談 >  出展ブース撤去  < 上海 泊 >	朝: ホ テ ル 昼: - 夕:
4	9月8日 (木)	常 州	終 日	新 幹 線 専用バス  新 幹 線	新幹線で常州市へ 常州国家高新区機電産業招商局との懇談 現地ものづくり企業視察・懇談 (2社程度) 市内視察 新幹線で上海へ  < 上海 泊 >	朝: ホ テ ル 昼: 夕:
5	9月9日 (金)	浦東空港発 関西空港着	12:10 15:15	専用バス NH156 (予定)	空港へ向かいます 空路、帰国の途へ	朝: ホ テ ル 昼: -

日程表に記載の行程、懇談会、視察などについては、全て予定です。

航空スケジュールは 2011 年 3 月のスケジュールを基にしております。2011 年 9 月は変更になる可能性があります。また、交通機関の都合により出発到着時刻の変更が生ずることがあります。

利用航空会社表記：NH (全日空)

食事表記 (朝：朝食、昼：昼食、夕：夕食、機内：機内食、-：各自)

ホテルは銀河賓館クラスを予定。

## <ご旅行条件要旨>

1. 旅行期間 2011年9月5日(月)～9月9日(金) 4泊5日

2. 旅行代金 基本料金 104,500 円  
(予定) 1人部屋利用追加料金 16,000 円  
ビジネスクラス利用追加料金(関空 - 上海間) 122,000 円  
日中ものづくり商談会@上海 2011 出展料 70,400 円 (別途申込必要)

### 3. ご旅行代金に含まれるもの

- (1) ご旅行日程に明示した航空運賃(エコノミークラス)
- (2) ご旅行日程に明示したスケジュールにかかる通訳・送迎交通費(チップ含)、入場代等の費用
- (3) ご旅行日程に明示した食事代金(機内食含)、税金、サービス料
- (4) ご旅行日程に明示したホテル宿泊費用(2名1室利用)
- (5) 機内預け荷物運搬費用(スーツケース1個20kg以内)
- (6) 添乗員1名(全行程)経費

### 4. ご旅行代金に含まれないもの

- (1) 日中ものづくり商談会@上海 2011 出展にかかる経費(出展料、通関料、通訳料など)
- (2) 海外空港税および燃油サーチャージ、航空保険料、空港諸税
- (3) 渡航手続に関する諸費用
- (4) 海外旅行傷害保険(任意)
- (5) 個人的な諸費用(クリーニング代・電話代・お部屋の飲物代など)
- (6) 超過機内預け荷物運搬料金(20kgを超えた場合)
- (7) 国内交通費
- (8) お一人部屋を利用される場合の追加費用
- (9) ホテルのデラックスルームを利用される場合の追加費用
- (10) ビジネスクラスを利用される場合の追加費用

### 5. ご旅行取消料について

出発前日の30日前以降のキャンセルにつきましては、所定のキャンセル料を申し受けますので、予めお含みおきください。

商談会の出展のキャンセルにつきましては、別途所定のキャンセル料が必要です。

### 6. その他

現地事情等により、やむを得ずフライト、ホテル等を変更する場合がありますので、予めお含みおきください。

### 7. 旅行取扱

日本通運(株)京都旅行センター(日通旅行)